

委員 その折には状況がまた変わっているところもあると思うので、改めて検討をお願いします。

3 報告事項

(1) 避難施設について

防災課 (資料3-1 説明)

委員 現在、鶴四小の地域の方は、鶴三小、または真光寺中が避難施設になるということ
でいいか。一度にその地域の方が鶴三小に集まるという考えでいいものか。

防災課 現在の鶴四小の地区は、地震災害時においては、2026年度から2028年度の工事
期間中、現在の鶴三小、真光寺中、鶴川中、鶴一小が代替の避難施設となる。

委員 各方面に分散するということか。

防災課 その通りである。工事期間中は自主防災組織ごとに最寄りの学校に避難いただく
ことになる。

委員 鶴川東小をつくるときも、鶴二小の地区の方は現在の鶴三小に避難となるのか。

防災課 その通りである。現在の鶴三小と鶴二中が鶴川東地区の代替の避難施設となる。

委員 三輪小も含まれるのか。

防災課 三輪小を含めるという話は今のところまだしていない。

委員 この話は、各町内会には伝わっているのか。

防災課 鶴二小にて避難施設関係者連絡会を5月に開催し、各自主防災組織の皆様に出席
いただいた。連絡会では、工事期間中の代替避難施設として鶴三小と鶴二中を提案
し、同意をいただいた。三輪小に避難することはできるが、連絡会では代替避難施設
としては提案していない。

委員 町内会での回覧や掲示板を活用しないと、会員の方には伝わっていないと思う。
避難所の場所が変わったことを、各自治会に直接もしくは市民協働推進課を活用し
て周知するなどお願いしたい。

防災課 承知した。

新たな学校推進課 一点、周知関係について補足をさせていただく。鶴四小がこの4月から解体され
避難施設として使用できなくなる旨は、1月の保護者会の中でもお知らせさせてい
ただいている。地域の皆様に向けても、鶴二小、鶴三小、鶴四小地域の町内会・自治
会の回覧に新たな学校づくり通信をお送りして避難施設変更についてお知らせをさ
せていただいている。とはいえ少し先のスケジュールとなるので、引き続き、周知を
していきたいと考えている。

(2) 鶴川中央小学校（鶴川西地区）の開校に向けた進捗状況について

新たな学校推進課 (資料3-2 説明)

(3) 子どもたちと進める新たな学校づくりの取組について

新たな学校推進課 (資料3-3 説明)

委員 授業での子どもたちの意見の中で、「新しいルールが多い」というものがあるが、ルールとはどんなものか。

新たな学校推進課 学校ごとに決まっている外遊び、中休みの過ごし方のルールなど、細かなルールが学校ごとにあり、統合にあたって、これらも学校ではすり合わせがされているものと推察される。新しい生活ルールや、習慣として設定された学校のルールが今までと少し違うことで子どもにとっての受け止め方や、それに慣れることの難しさを言っているものだと考えている。

委員 何のどのルールのことを言っているのか、これは学校のルールなのか、それとも生活のルールなのか、どちらのことなのかというのが私には読み取れない。

新たな学校推進課 その場で出た子どもたちの意見の多くは、休み時間の過ごし方や、朝学校に来て昇降口に入るまでの過ごし方など、細かなことが今までの学校のルールと変わってしまった点があり、生活の中での新しいルールについての意見であった。

会長 以上で、本日の議事は終了となる。

本日が今年度最後の協議会となるので、皆様から一言ずついただければと思う。

委員 鶴三小と鶴四小がくっつく時期はすぐ先、すぐ目の前の話ということだったが、鶴川東地区はちょっと先のことを見ながら、また、通学の安全、子どもたちの楽しい学びの場につながっていくことをこれからまた期待していきたいと思っている。

委員 私の娘は、今度新5年生になるので新校舎に行くことはないが、こういう形で参加させていただき、どのように皆さんが考えて学校を統合するのか、という意見交換できる場に参加できてすごくよかったと思っている。

委員 こういう場は慣れていないし、話すのが苦手なのだが、2人の子どもが鶴三小に現在通っていて、上の子はちょっと恥ずかしがり屋であまり話さないが、下の子は社交的なのもあって、新しく統合することをすごく楽しみにしている。鶴川中央小の新しい校歌も家で歌ったりしている。

委員 皆さん方は想像もつかないかもしれないが、昭和24年に通っていた小学校が統合された。その頃はまだ戦後間もない混乱期でもあり、私もまだ4年生だったが、縄張意識が結構あり、統合して友達同士でよくけんかをした。そういう混乱時期はすぐ落ち着いたが、今日もこの資料を拝見して、非常に手厚く、子どもたちに対するところ配りもよくできていて、事前の対応、本当に気がつくところを一生懸命やられているのがよく分かる。私の経験からいっても、ここまでやれば間違いなくうまくいくと思う。子どもたちも前向きに取り組んでいるようだし、もう間もなくだが、うまくいくことを祈っている。

委員 鶴三小と鶴四小の閉校式が終わり、新年度から鶴川中央小になり、その後、鶴川東小の番になるが、一步遅れてというよりは、東も西もなく鶴川地区としてこういうふうに関わり合いをしながら進めていくことはとてもありがたいことだと思っている。

今、とても頼もしい言葉を、以前のことかもしれないが、そういう以前の統合など

も含めて、完璧にはいかないかもしれないが、一步ずつ進んでいけたらと思っている。鶴二小のほうも、まずは学校を閉じる方に向かわなくてはいけないが、改めて学校の良さを意識させながら、それを踏まえてどういうふうにしていったら良いかと考えられるような場をつくっていきたいと考えている。また、よろしく願います。

委員 この1年、本当にいい経験をさせていただいた。私がちょっと心配しているのは、今、見守りをしていて、皆もう80過ぎて、90近いお年寄りばかりで、どんどん人数が減っているということ。鶴川東小は、2029年度以降は仮校舎に通うことになると思うが、今のところ2か所の見守りに限定してやらせていただこうと思っている。いつまで続けられるかは不安だが、今後ともよろしく願いたい。

委員 私が最近感じているのは、ここの場に来て、いつも説明を受けて、こちら側はあら探しではないが、そういった部分を突っ込んでばかりで良くないなということ。また、統合、統合と言われていて、学校統合になってくつつくという話ばかりで、そっちの方に目がいってしまっている。新たな学校づくりということで、新しい良い学校、魅力のある学校をつくるというのを、キャッチコピーにして、統合というのはこの次で、新しくいいものをつくるんだというのを宣伝材料として広めていったらどうかと考えている。

委員 私は、昭和39年、鶴二小の開校と同時に1年生で入学した。その後、鶴三小、鶴四小とどんどん地域に小学校が増えて、高度成長期とともに人口が増えてきて、古きよき時代だった。これからは町田市も人口減ということで、統廃合をせざるを得ないという状況。時代とともにそういう状況になって、行政と学校と地域とが一体となって、前向きにそれを進めていこうというこの会議に参加、立ち合わせていただいて、鶴二小という名前が消えてしまうのは寂しい部分もあるが、新たな旅立ちといって、鶴川東小に生まれ変わるということでもとても期待している。

委員 去年から引き続き参加させていただいているが、本当に鶴二小もあと3年後に閉校になってというところで、まだ余裕というか子どもたちも実感がないと思うが、もうカウントダウンに入ると思うので、子どもたちにも、もう少しでなくなっちゃうんだよということを伝えつつ、こっちの鶴三小の方にしばらく通うからねということをお家でも話して、子どもたちが戸惑わないように、日々、ちょっとずつ慣らしていこうかなと思っている。

委員 今年から参加させていただいて、ずっと文句ばかり言っていたような気がするが、市の皆さんには、子どものことを本当にいつも考えていただいてありがたいなと思っている。また、この場に参加すると、地域の方にもいっぱい参加していただいて、学校というのが地域の方にもいっぱい支えられているのだなということを改めて実感した。こうして大人たちが子どもの学校をつくるために頑張っているというところも、ぜひ子どもに伝わるといいと思うので、そういった面でも、これからもよろしく願いたい。

会長 4年間ずっと司会を務めさせていただいたが、鶴川の三・四小の地域とこちらと

で両方の会議に出させていただいた。鶴川地区のことがすごくよく理解できるようになり、私にとっては貴重な4年間だった。鶴三小はもう閉校に向けてスタートして、学校のあらゆるところが変わっている。来年度は鶴三小と鶴四小が統合して鶴川中央小のスタートだが、そのときから、鶴二小との交流を考えていかななくてはならないという気持ちに皆さんもなっていくと思うので、これまで携わった者の実感として、ここからあっという間に3年間が過ぎていくだろう。でも、経験してきたことがとてもすばらしく残っているので、いい形で、さらにまた新しい学校ができるのだろうと思っている。4年間、ありがとうございました。